
つくばみらい市立十和小学校区における意見交換会

《 平成28年12月18日（日）午後2時00分～ 十和小学校体育館 》

1. あいさつ

2. これまでの経緯

3. 『つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画』について

4. 今後の進め方について

事務局： それでは、2. これまでの経緯、3. 『つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画』について、4. 今後の進め方について、を事務局よりご説明いたします。

《事務局より資料の説明》

5. 質疑・ご意見等

事務局： それでは、質問等がありましたらお願いします

市民： 4年生の保護者です。自分の子が4年生なので、統廃合にはあまり関わりがないのですが、2年後ぐらいには、統廃合されて6年生の時は谷原小学校なのかなと覚悟して来たのが、平成33年度の統合となると自分子ども卒業してしまう。複式学級が十和小学校では平成31年からと想定されているので、複式が始まる平成31年に十和小学校が、谷原小学校もしくは福岡小学校と統廃合をするという形にはならないか。
現在、小さいお子さんをお持ちの方の意見は分からないが、あえて言わせて頂くと、あまり子どもが少なすぎると競争心もなく、お友達も少なく、誰かと誰かが仲良くするとあぶれる子も出てくると思う。必ずしも、3校同時に統合しなければならないものか疑問に思っている。平成31年から複式学級が始まるにあたって、いち早く谷原小学校か福岡小学校のどちらかに統合するような案にはならないか。

事務局： 理想を言えば1学年2クラス以上は確保したいと考えるが、3校足しても1クラス。それでも、1クラス、10人以下よりは多い方がいいわけで、枠組みとしては3校同時の計画になっている。我々としては、谷原小学校の施設を使って新しい学校を作っていく。十和小学校が無くなって谷原小学校にお世話になるのではなく、3校が一緒になって新しい歴史を、新しい学校を作っていく。

3校一緒という豊小学校と谷井田小学校と三島小学校でも、3校同時という形で計画をさせて頂いている。どうしても話し合いの中で、学校ごとに合意形成に至るまでの時間が早かったり遅かったりするため、熟度が増した所で、先に合併をする方法も考えられると思う。話し合いを始めて地域の皆様方や保護者の皆様方に子ども達をいかに良い環境にし

てあげた方がいいのか、皆で考えていきたいと思っている。

P T Aの方で、説明会や意見交換会等を早く開催してほしいと声をかけて頂ければP T Aの会合にお邪魔をして、膝を合わせて話し合っていければと思っている。

市 民： 複式学級がある学校から統廃合の話が出ていると思うが、十和小学校が複式学級になるのが平成 31 年と分かっているのに、統合が平成 33 年に始まるという事だが何か理由はあるのか。どこかの学校が反対しているとか何か理由はあるのか。

事 務 局： 遅らせているわけではない。資料 2 の p3 の東小学校、板橋小学校と書いてある、東小学校の一番下の所をご覧頂きたい。複式発生時期は平成 27 年から平成 37 年、これが複式学級 2 学級。平成 38 年から平成 42 年は複式学級 3 学級になる事が想定されている。こちらを、先行して進めていかなくてはならないだろうと、平成 31 年度という形にさせて頂いた。恐らくこちらの学校の統合がモデルケースになってくると思われる。その状況を皆様方にホームページや広報誌等でお知らせしつつ、各地区で今後進めていきたい。進めていける所から進めていきたいと思っている。

市 民： 立派な小学校があるのに廃校にするとなると、その後の使い方はどうなるのか。

事 務 局： 跡地利用については、教育委員会の中で具体的に決まっているわけではないので、明確にお答えできないが、公民館のように地域のコミュニティの中心となるようなものとして重要な役割を担っていくように考えている。校舎も、耐震や空調も整備されているので、小学校を取り壊さずに今後も活用していきたいと考えている。十和地区の住民の皆さんと、統合に向けての話し合いの中で、一緒に話し合いながら進めていきたいと思っている。

市 民： 平成 30 年に（仮称）富士見ヶ丘小学校ができる事になっているが、その 19 クラス分を既存の他の小学校を割り振る事は考えられないのか。

事 務 局： みらい平地区の人口増により、陽光台小学校と（仮称）富士見ヶ丘小学校の規模が大きくなっている状況である。平成 27 年 4 月に陽光台小学校が開校して、既に 1,000 人規模の学校になっている。平成 30 年には賄いきれなくなるので、平成 30 年に（仮称）富士見ヶ丘小学校を開校する事になっている。みらい平地区においては、いろんな所から移り住んできており、まだ、自治活動や集落組織のようなものができていない。そのような面もあって、やはり地域として自治会組織や集落的な組織を築いていくのには、同じ学校で集団登校したり、色々な P T A 活動を通して地域の人たちと仲良くなったり、そういう面が社会的、行政的にも重要な問題になってきている。仮に、（仮称）富士見ヶ丘小学校の何丁目の人たちは、十和小学校へ行ってくださいなどと、町で分けてしまうと、町自体がギクシヤクしてしまい住みにくくなってしまう事を恐れているので、みらい平地区の人はみらい平の小学校へ通ってもらう事にしている。みらい平地区の宅地開発に関する計画は、平成 5 年ごろに計画され、その計画にも小学校を 2 校造る事になっている。あそこに住んでいる方々も、この街にはいずれは小学校ができるだろうと思って移り住んできている方も大勢いらっしやる。そのような事があって審議会の中でも、振り分ける事ができないという結論になった。

市 民： 今、各小学校で説明会をやっているが、全部合同で説明会をやってはどうか。3 校同時に行っても良いのでは。仮に、みらい平地区とかも含め説明会があってもいいと思うのだが、

どうでしょう。

事務局： 今、保護者の方々や地域の皆さんに、皆で子ども達のための教育環境を考えていきたいと思いますというまさにスタートである。まずは、学校区ごとの保護者、今後就学予定の保護者の方、皆で、新しい学校にするならどういう学校にするべきなのか、または統合するべきなのかを含めて学校ごとの方向性を見出してから、学校ごとに、ある程度、話がまとまった段階で、3校合同での話し合いの場を考えている。今の時期に一気にグループで話し合うのは難しいと感じている。まずは、自分の学校の状況を見てから、こうした方がいいという事でないと感じる。皆自分の学校がいいわけで、おじいちゃんやおばあちゃんは本当に自分の学校が無くなってほしくないと思っている。なかなか難しい。吸収合併ではない新しい立場で学校を作る統合なので、色々な組織の話、バスの話も出てくる。子ども達のために一緒に考えていきたいと思っている。それを具体化したのが資料2の、最後のページ『統合検討委員会における検討』の中で、小学校ごとにやっていく部分と、統合する小学校全体でやっていく部分を具体的にしなければならないと思っている。単独の十和小学校の保護者及び今後、入学予定である未就学児の保護者の皆さんと我々、教職員の皆さんと関係者が集まって皆で話し合いをしたいと思っている。谷原小学校や福岡小学校の事も分からないと思うのがほとんどだと思う。それらの小学校との交流会を重ねていって保護者の方や児童の方も慣れていくという順序立ててやっていかないといけないと思う。新しい校名もこのまま谷原小学校のままでいいのか。新しい学校を作るにあたって皆さんと色々話し合っていきたいと思っている。まとまった時点で何年の何月何日に統合し、新しい学校が誕生という手続きを進めさせて頂ければと思っている。

市民： 3校がまとまるのに5年は十分な時間なのか。3校がまとまるのに5年は短いと思う。

事務局： 他の自治体ではそんなにかげずにやっている所もある。我々としては、およそ3年かけて、統合するべきかどうか、統合するとなったら次の1年をかけてスクールバスはどうするのか、どういうルートになるのか、それは無料なのか有料なのか等、色々な細かい点を詰めていきたい。その次の年は、上手く話が進めば校名や校章や校歌、合併後のPTAの規約など、統合に向けて決めていく形になると思う。

6. 閉会

事務局： それではまた、今後このような会を設けさせて頂きたいと思います。その際には改めて出席くださるよう、ご近所の方をお誘い頂ければと思っております。それでは本日は貴重なご意見をありがとうございました。以上をもちまして意見交換会を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上